



2021年3月期（第45期）

決算説明資料

2021年5月20日

株式会社フォーカスシステムズ

（証券コード：4662）

- 1 2021/3期（第45期）決算について P. 3
- 2 2022/3期（第46期）業績予想 P.19
- 3 <ご参考> トピックス P.21
- 4 <ご参考> 当社の概要 P.28

① 2021/3期（第45期）決算について

決算

- ✓ 売上高・各利益ともに過去最高を更新
- ✓ 配当金24円（普通配当20円、特別配当4円）

事業

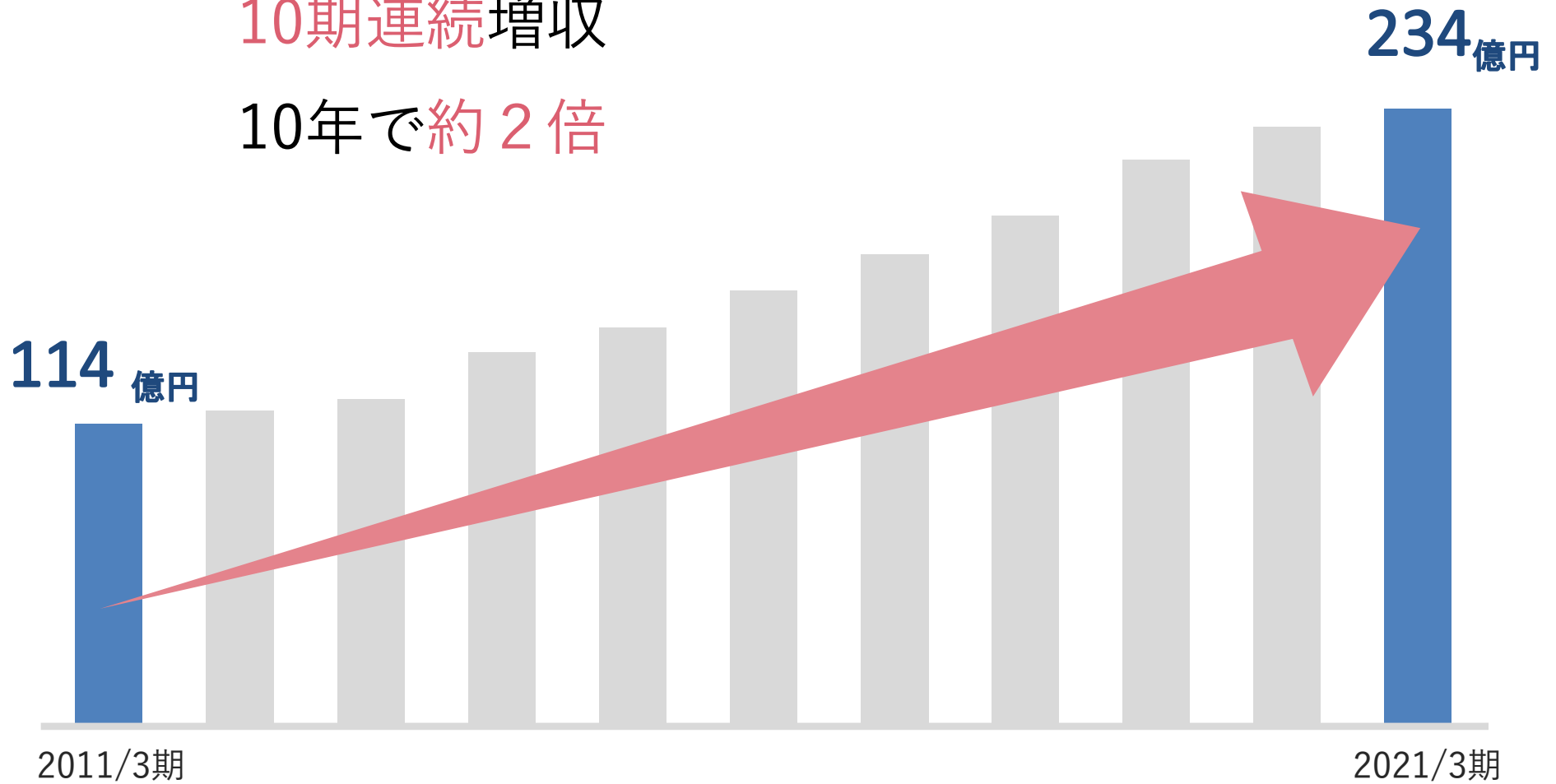
- ✓ 第1四半期に新型コロナウイルス感染症の影響を受け
案件の延期・中止、営業活動の制限等が生じ、厳しい環境下でスタート
- ✓ 第2四半期から法人企業向け案件が復調傾向
 - ・新規案件獲得に向け、ニューノーマルによる営業を強化
 - ・ITインフラ関連ビジネスが順調に推移
- ✓ 将来を見据えた取組みを推進
 - ・FRONTEOとの業務資本提携（医療分野における画像系AI×言語系AI）
 - ・SAP関連ビジネスの戦略的拡大

- ✓ 売上高・各利益ともに、前期実績及び期首計画を上回って着地
- ✓ 多岐にわたるポートフォリオによる事業の底堅さを、コロナ禍で再認識

(単位：百万円)

	2020/3期 実績	2021/3期 計画	2021/3期 実績	前期比		計画比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	22,703	22,800	23,485	781	3.4%	685	3.0%
営業利益	1,428	1,430	1,450	21	1.5%	20	1.4%
経常利益	1,467	1,430	1,469	1	0.1%	39	2.8%
純利益	930	940	1,025	94	10.2%	85	9.0%

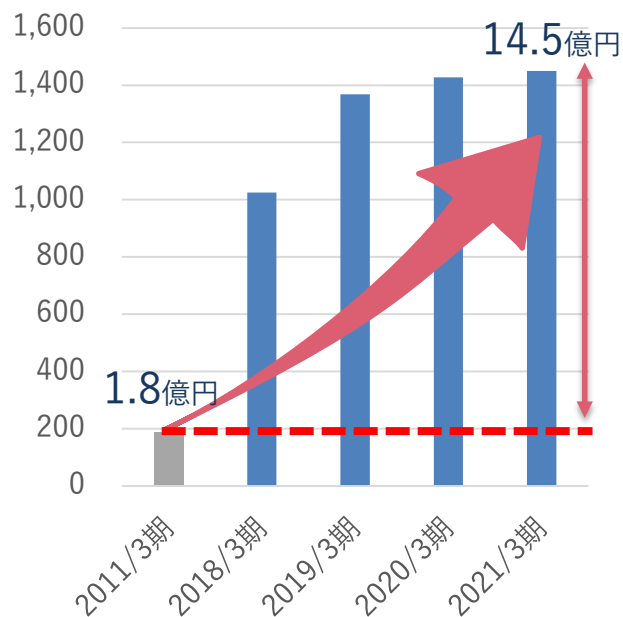
10期連続増収
10年で約2倍



4 期連続増益

営業利益

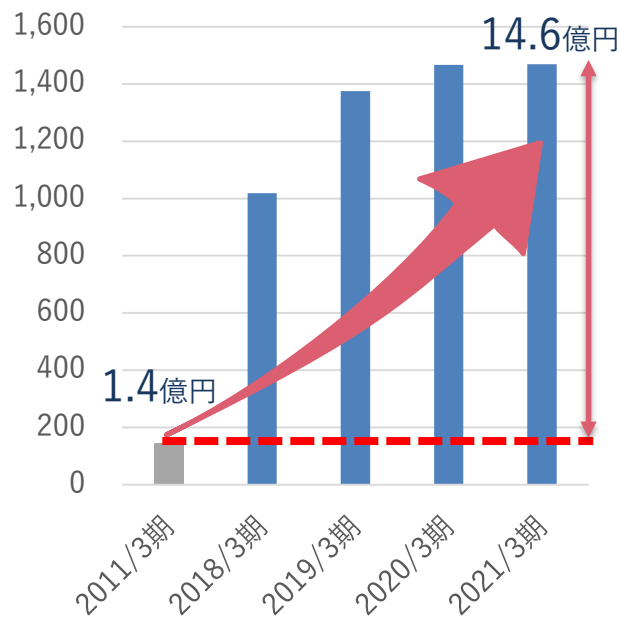
(単位：百万円)



約 8 倍
(2011/3期比)

経常利益

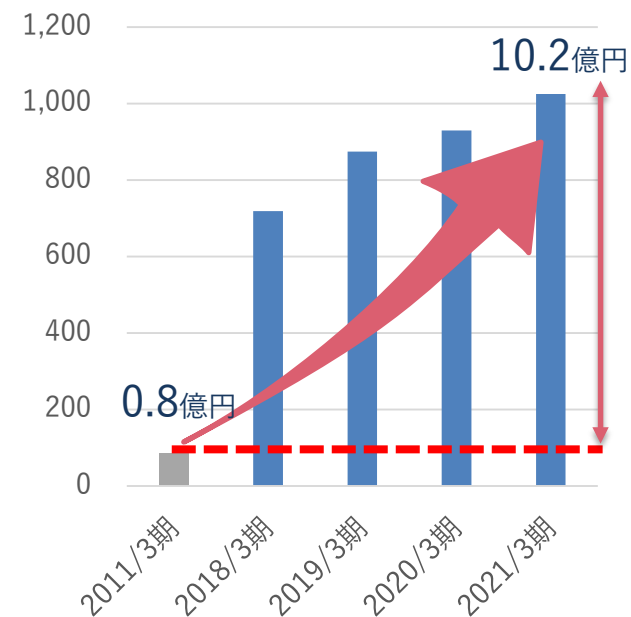
(単位：百万円)



約10倍
(2011/3期比)

純利益

(単位：百万円)



約12倍
(2011/3期比)

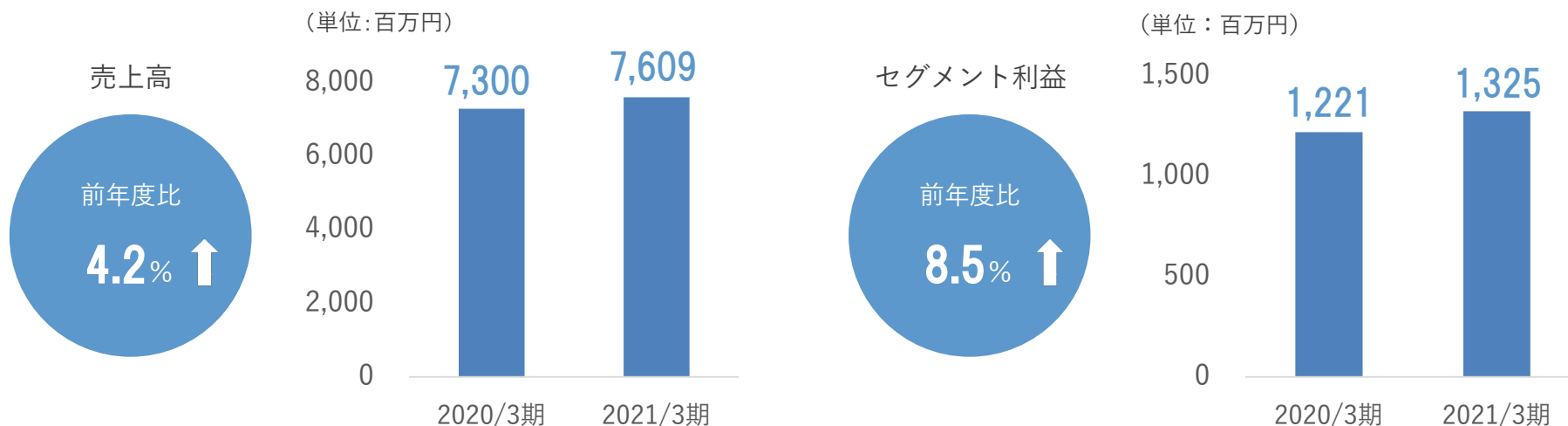
(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
	公共関連事業	エンター プライズ事業	広域 ソリューション 事業	イノベーショ ン事業	計		
売上高	7,609	5,560	4,500	5,814	23,485	—	23,485
売上高 構成比	32.4%	23.7%	19.2%	24.7%	100%	—	—
セグメント 利益	1,325	679	562	555	3,122	△1,671	1,450
セグメント 利益構成比	42.4%	21.8%	18.0%	17.8%	100%	—	—

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,671百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費（全社費用）です。
 2 セグメント利益は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

公共関連

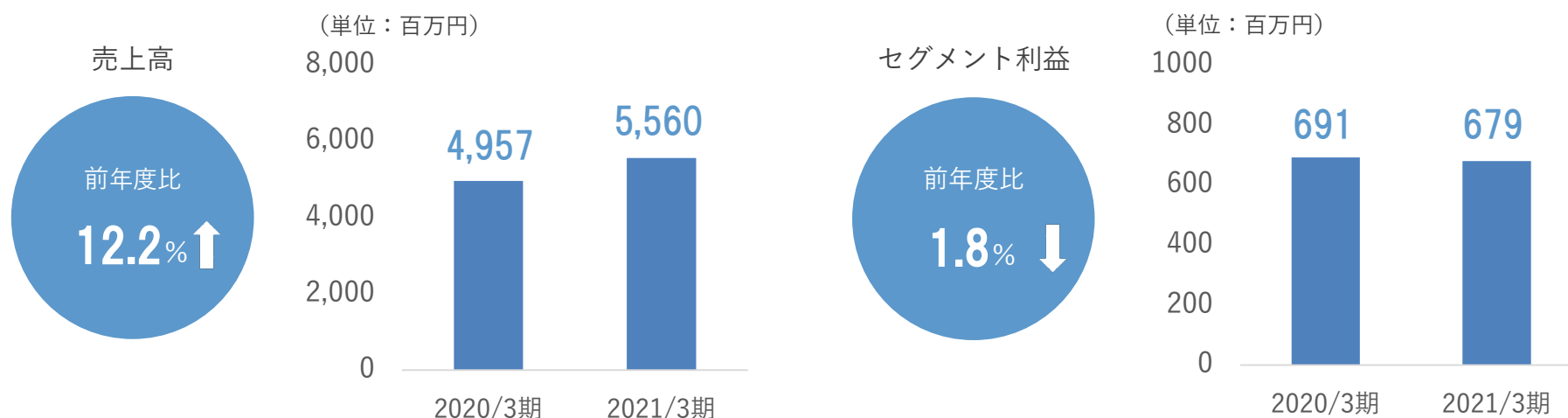
主に官公庁及び地方自治体を最終ユーザーとする社会インフラ基盤に係るシステムの設計・製造からシステム稼動後の運用・保守



- ✓ 公共医療等を含む各種プロジェクトが順調に推移
- ✓ 人材育成・組織的な知見共有等、DX案件獲得に向けた準備が着実に進む

エンタープライズ

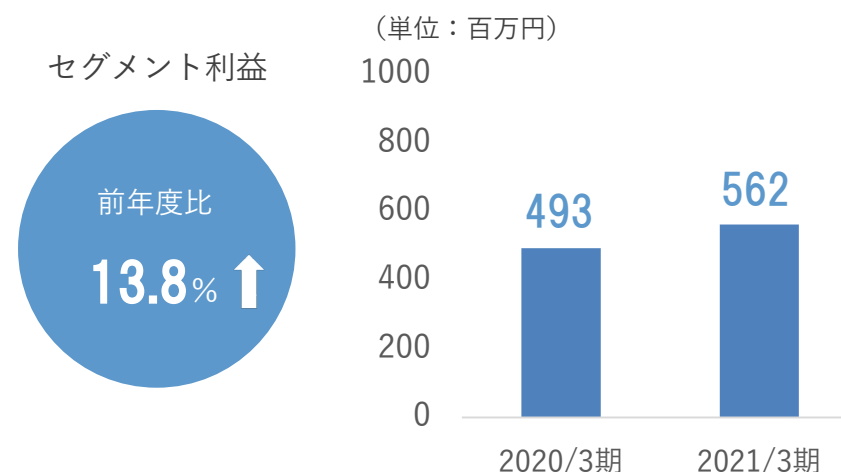
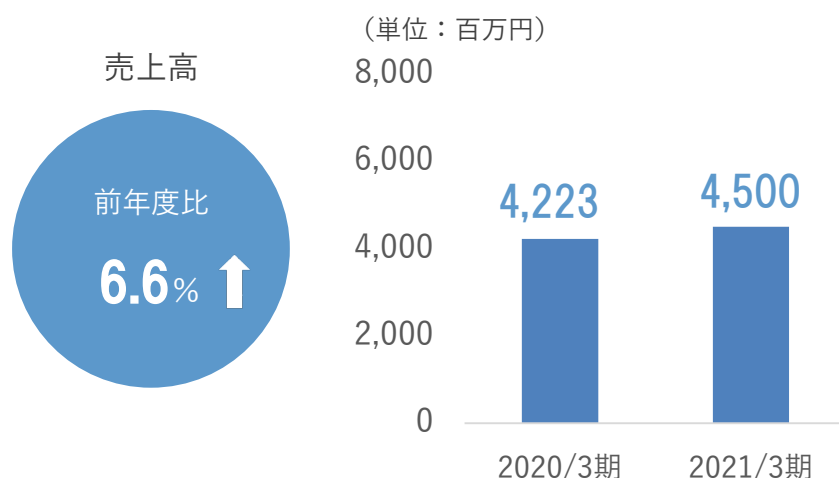
主に法人企業の基幹業務システム・Webシステムの開発、ネットワーク・インフラの設計・構築、RPAソリューション、付随する運用・保守、ICTに係るコンサルティング



- ✓ 期首より新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、既存案件先送り等による厳しいスタートを迫られるも、第2四半期以降、積極営業で新規案件を獲得し挽回
- ✓ ネットワーク及びインフラ案件が順調に推移
- ✓ SAP関連ビジネスへの本格参入果たし、大規模直受け案件及びクラウド化需要の取込みを図る

広域ソリューション

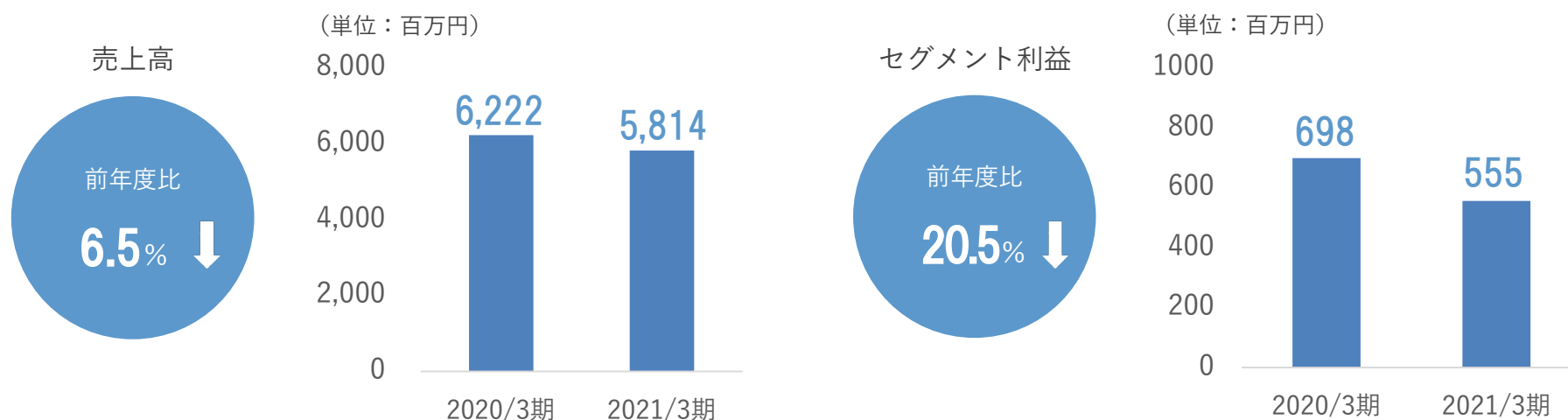
主に東京・名古屋・大阪地域における、通信制御システム開発、組込みシステム開発、民間企業・行政機関向けシステム開発、AIソリューション、付随する運用・保守、ICTに係るコンサルティング



- ✓ 名古屋は第1四半期に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一部案件の中止等が発生
首都圏・大阪圏においては一部影響を受けつつも、成長基調で着地
- ✓ 5G関連ビジネス及び関西地域の地方自治体案件が順調に推移
- ✓ AI関連ビジネスは、新規案件獲得及び産学連携共同研究が進展

イノベーション

主にインフラ基盤設計・構築、メインフレーム構築、システム開発、付随する運用・保守、自社製品の製造、IoTソリューションの提供



- ✓ 主軸であるインフラ設計・構築や保守・運用案件は堅調に推移
- ✓ 製品販売においては、暗号エンジン/ライセンス製品が前年度と比較し増加したものの、デジタルフォレンジック製品の収益減少が、セグメント業績に大きく影響

(単位：百万円)

	前事業年度	当事業年度
(資産の部)		
流動資産	9,835	9,812
固定資産	5,526	7,995
有形固定資産	3,596	3,505
無形固定資産	50	145
投資その他の資産	1,878	4,344
資産合計	15,361	17,808
(負債の部)		
流動負債	4,829	4,571
固定負債	1,646	2,172
負債合計	6,475	6,744
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	2,905	2,905
資本剰余金	2,138	2,148
利益剰余金	3,803	4,527
自己株式	△359	△354
評価・換算差額等	398	1,837
純資産合計	8,885	11,063
負債純資産合計	15,361	17,808

前事業年度末に比較し2,446百万円増加

(主な増加理由)

- ・投資有価証券の増加 2,550百万円
- ・売掛金の増加 129百万円

(主な減少理由)

- ・現金及び預金の減少 87百万円
- ・土地の減少 40百万円

前事業年度末に比較し268百万円増加

(主な増加理由)

- ・繰延税金負債の増加 547百万円
- ・長期借入金の増加 286百万円

(主な減少理由)

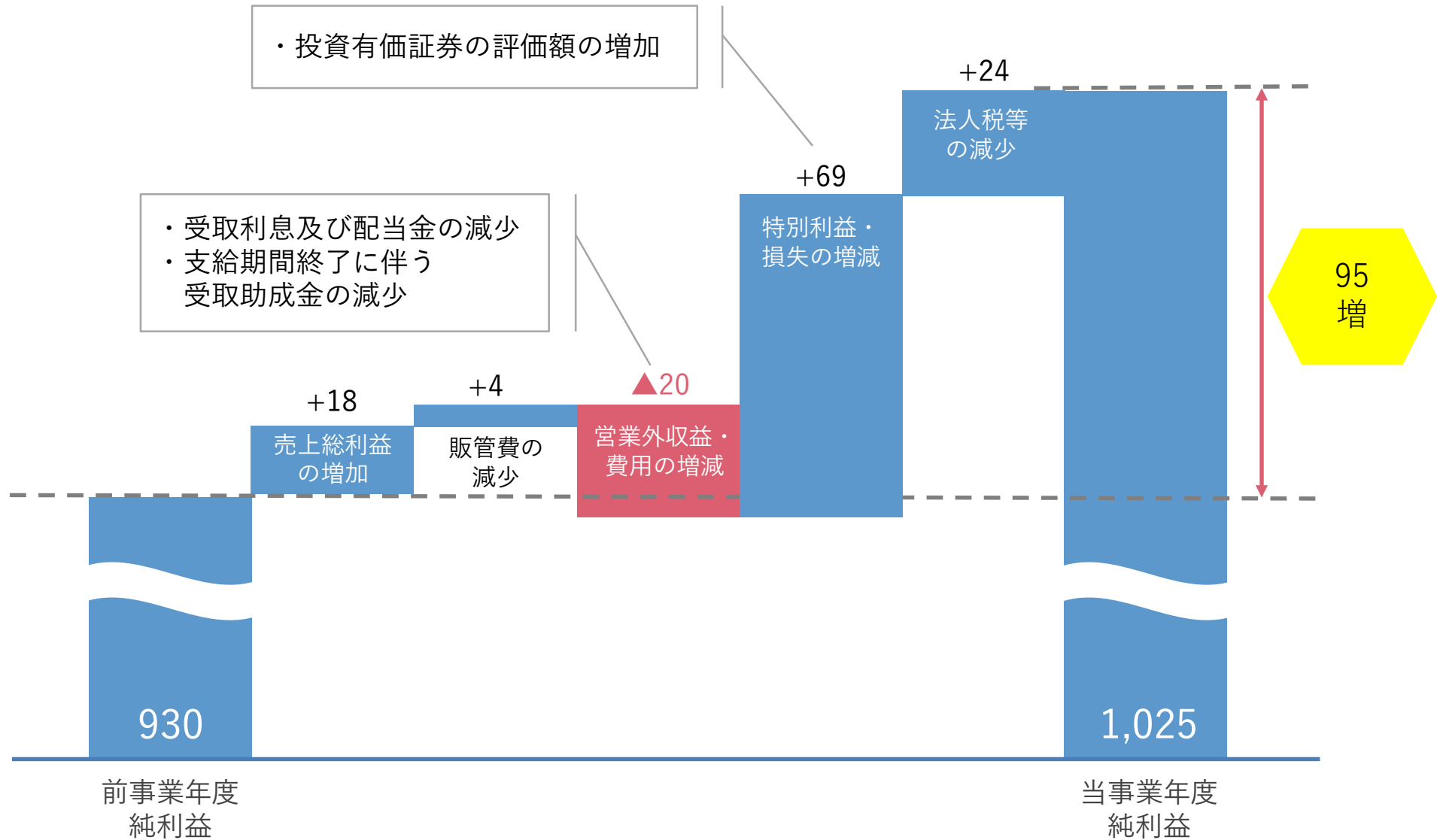
- ・社債の減少 310百万円
- ・1年内返済予定の長期借入金の減少 146百万円
- ・1年内償還予定の社債の減少 130百万円

前事業年度末に比較し2,177百万円増加

(主な増加理由)

- ・その他有価証券評価差額金の増加 1,439百万円
- ・繰越利益剰余金の増加 724百万円

(単位：百万円)



(単位：百万円)

	前事業年度	当事業年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	745	936
投資活動によるキャッシュ・フロー	△587	△624
財務活動によるキャッシュ・フロー	△874	△401
現金及び現金同等物の増減額	△715	△90
現金及び現金同等物の期首残高	4,778	4,062
現金及び現金同等物の期末残高	4,062	3,971

936百万円の収入

(主な収入)

- ・税引前当期純利益 1,500百万円
- ・減価償却費 140百万円

(主な支出)

- ・法人税等の支払額 540百万円
- ・未払金の減少額 107百万円

624百万円の支出

(主な収入)

- ・保険積立金の解約による収入 76百万円

(主な支出)

- ・投資有価証券の取得による支出 499百万円
- ・無形固定資産の取得による支出 109百万円

401百万円の支出

(主な収入)

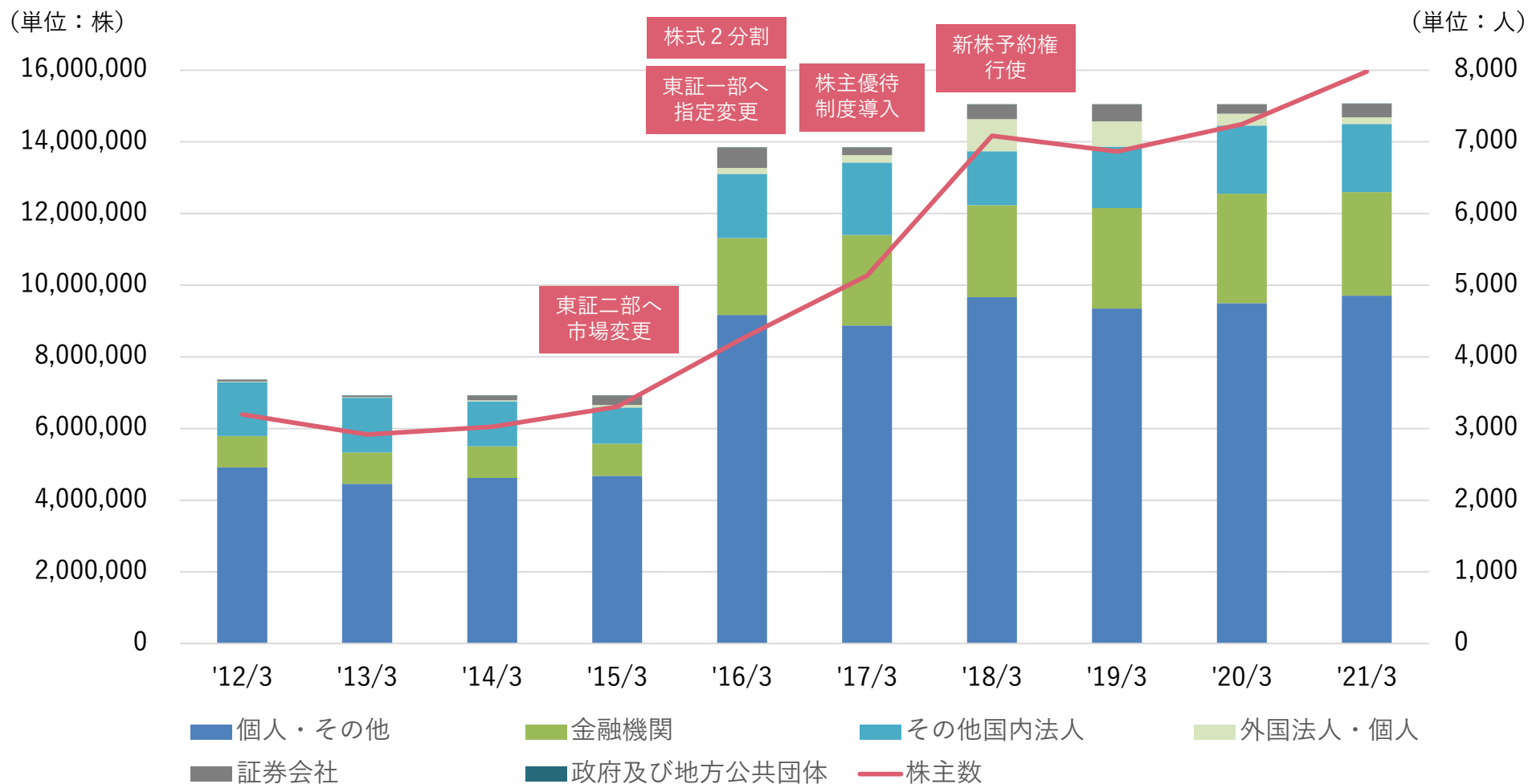
- ・長期借入れによる収入 900百万円
- ・短期借入金の純増額 200百万円
- ・社債の発行による収入 197百万円

(主な支出)

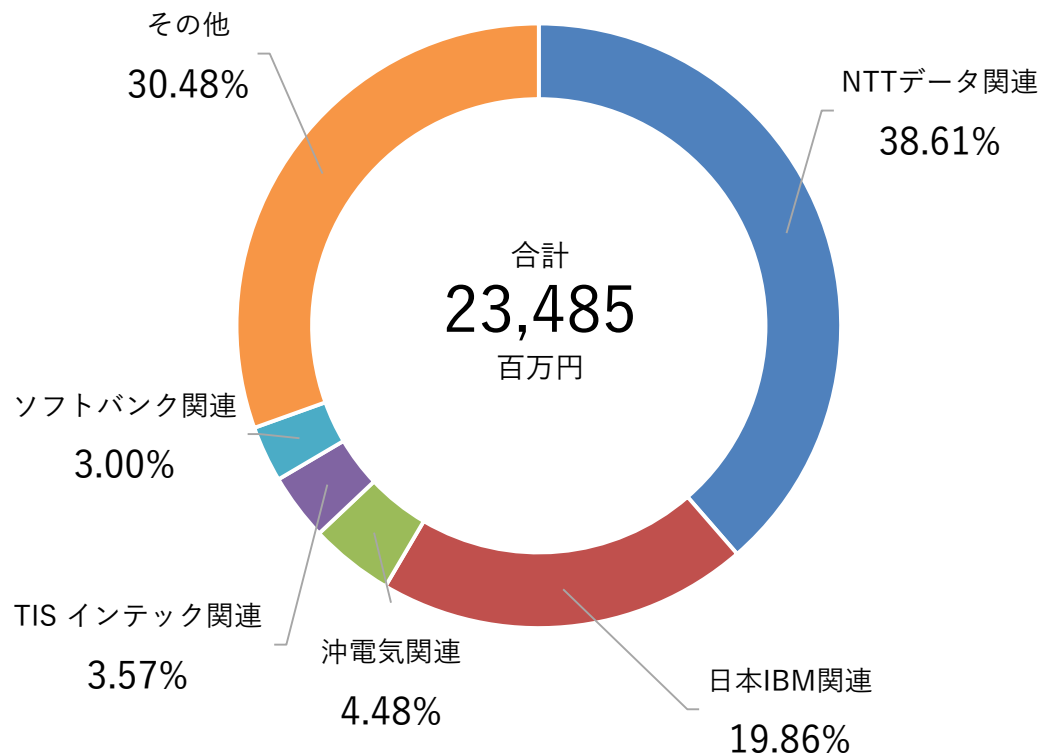
- ・長期借入金の返済による支出 760百万円
- ・社債の償還による支出 640百万円
- ・配当金の支払額 299百万円

前事業年度末に比較し90百万円減少

- ✓ 2021/3末の株主総数は7,979人（2020/3末から734名増）
- ✓ 外国人・金融機関の株数が減少した一方で、個人・証券会社の株数が増加

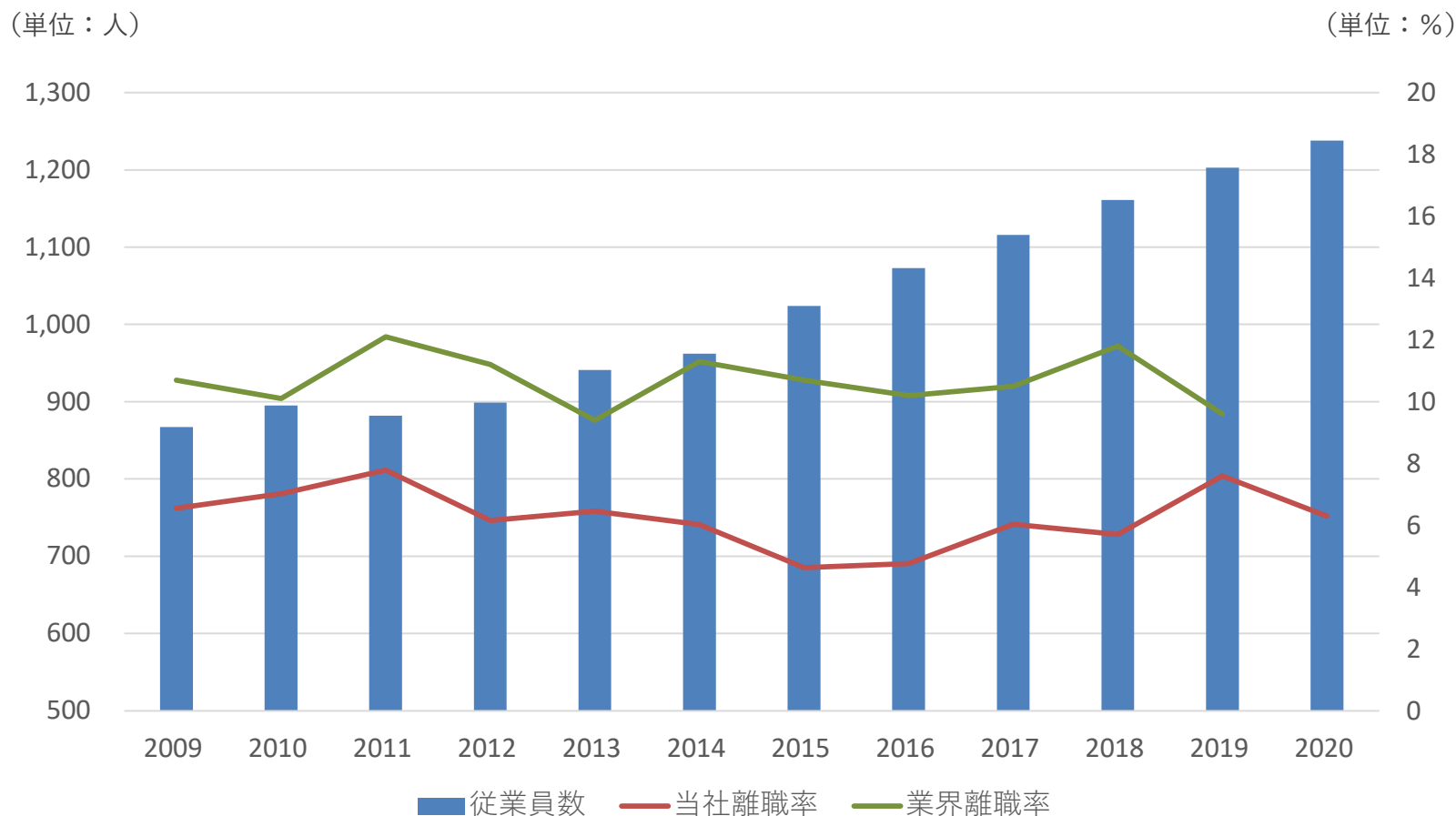


- ✓ 公共関連事業の成長と比例し、NTTデータ関連企業様への売上高が増加
- ✓ 主要顧客グループの売上高順に変動はなく、良好なパートナー関係が継続



顧客名	2021/3期 売上高 (百万円)
NTTデータ関連	9,067
日本IBM関連	4,663
沖電気関連	1,052
TIS インテック関連	839
ソフトバンク関連	704
その他	7,157
合計	23,485

- ✓ 人材獲得競争が加速するIT業界において、従業員数は増加基調で推移
- ✓ 定着率も向上し、業界離職率を下回る離職率を維持



(※) 業界離職率は厚生労働省発表「雇用動向調査結果の概要」を参考にしております。2020年の離職率は未発表のため、掲載していません。

2 2022/3期（第46期）業績予想

- ✓ 2022/3期業績は、過去最高の売上高・利益更新する予想
- ✓ 2022/3期の配当予想は、中間配当を実施し、増配となる「25.00円/株」

	2021/3期 実績 (百万円)	2022/3期 予想 (百万円)	前期比増減率 (%)
売上高	23,485	24,500	4.3
営業利益	1,450	1,480	2.1
経常利益	1,469	1,500	2.1
当期純利益	1,025	1,030	0.5

	2021/3期 実績	2022/3期 予想
1株当たり当期純利益 (円)	68.08	68.37
1株当たり配当金 (円)	24.00	25.00
	(内訳) 普通配当 20.00	(内訳) 中間配当 5.00
	特別配当 4.00	期末配当 20.00
配当性向 (%)	35.3	36.6

3

<ご参考> トピックス

2020
4/7

IoTゲートウェイメーカーのぷらっとホーム株式会社とIoTセンサー・デバイス パートナープログラムを締結

- ✓ 当社のBLEビーコン（FCS1301、timbe）は「小型」で身に着ける、持ち運ぶという点で非常に優位性が高く、人やモノの屋内位置測位等での実績が増加している
- ✓ マーケティング、セールス、サポート面での強化を図り導入実績の増加を目指す

2020
5/25

虚血性心疾患を対象とした冠動脈イメージングにおけるAI解析ソフトの開発着手

- ✓ 昭和大学医学部循環器内科の新家教授及び株式会社マイクロンと虚血性心疾患における冠動脈内のイメージング画像を解析するAIソフトの開発に着手
- ✓ 将来的には虚血性心疾患だけでなく幅広い病気に対してAI画像診断が応用されることが期待できる
- ✓ 2021年度中の臨床現場での実用化を目指す

2020
7/30

脳核医学領域初のAIによる検査時間短縮の共同研究開始 AI仮想画像の生成で、約5分の1の検査時間を目指す

- ✓ 核医学検査において通常30～45分かかる撮影時間を5分間で撮影し、AIが通常と同等の診断精度をもつ仮想画像を生成
- ✓ 患者の負担軽減だけでなく、医療スタッフの業務効率化や検査効率の向上、さらには高額機器の有効活用など多くのメリットに期待

2020
10/20

AIの自然言語処理を活用した 「製品安全業務支援システム」の開発を受託

- ✓ 独立行政法人製品評価技術基盤機構製品安全センターにおいて、膨大な数に上る事故情報の管理及び分析作業にかかっている職員負担を軽減し、業務を効率化
- ✓ 「教師データ生成システムの研究(2019年)」、「問い合わせ対応履歴からQ&Aデータを作成するために開発したソフトウェアの導入(2020年)」等、当社が蓄積してきたAIの自然言語処理に関するノウハウを活用

2020
10/23

オンラインでの相互コミュニケーションに革新を 業界初！グループワークをリアルタイムで見える化

- ✓ ハイラブル株式会社のもつ、グループワークにおける話し合いの様子をテキストやグラフ等で表示する技術に、当社は「話し合いの可視化、字幕の生成、アラートの発動、集約したデータの統合表示」等、“リアルタイム”にグループワークの様子を把握できるようにする機能追加を担う
- ✓ 遠隔地にいる講師がオンライン上でも参加者に寄り添えるようになり、利用者の満足度及び教育・研修品質の向上につなげる

2020
11/16

株式会社FRONTEOと業務資本提携を締結 画像系AI×言語系AIで、医療分野におけるDXを推進

- ✓ 両社が得意とするAIの組み合わせることにより、心血管疾患の発症予測、治療法の革新、発症後の患者動向の予測のシステム開発等につなげる
- ✓ 対象疾患患者のQOL向上、さらには医療従事者の負担軽減など社会的問題の解決を目指す

2020
12/1

SAP 関連ビジネスへの本格参入による戦略的拡大

- ✓ SAP ジャパン株式会社とSAP PartnerEdge契約を締結。さらに、SAP関連事業を譲受
- ✓ SAP 製品および関連するサービスのお客様への直接提供が可能
- ✓ 既存の ERP 関連事業と合わせて、基幹システムを中心としたデジタルビジネスの推進を提案
- ✓ 事業拡大およびより競争力のある先進的な仕組みのソリューション化を進める

2021
2/10

ERPパッケージ「Biz f」で 株式会社ブロードリーフの新基幹システムを更改

- ✓ 「ゼロカスタマイズ」でのシステム更改により、ブロードリーフ社グループ全体でのITガバナンス強化、業務効率化による働き方改革、経営管理高度化を実現
- ✓ 今後もビジネスプロセス改善やビジネスモデル変革等、ブロードリーフ社のDXを推進

2021
3/29

DNA の“傷”から健康リスク推定 2023年のヘルスケアサービス化を目指す

- ✓ 茨城大学および株式会社Dinowと、産学連携の共同研究を開始
- ✓ 当社は、高度な自社セキュリティを備えたデータベースの構築および推定プログラムの開発等を担う
- ✓ 将来的には、DNA の“傷”から発がんや老化等の健康リスクを推定し、その予防に役立つ新たなヘルスケアサービス等幅広いソリューションの創出を目指す

2021
4/15

大阪府と事業連携協定 「大阪府DX推進パートナーズ」に参画

- ✓ データやデジタル技術に関する「お困りごと」を抱える中小企業向けDX
- ✓ 「大阪府DX推進パートナーズ」として、DX推進に資するソリューションを提供

2021
4/26

株式会社メティスを持分法適用により関連会社化

- ✓ メティス社はインド人材ネットワークを広く持つとともに、日本の商習慣を熟知し、AI・IoT・ビッグデータ等の先端技術を活用した新規事業開発支援やソフトウェア開発、技術者派遣を日本品質で提供可能
- ✓ インドの先駆的テクノロジーを活かした日本国内向け新規ソリューションの創出等を通じ、中長期的な企業価値向上を目指す

4

<ご参考> 当社の概要

事業内容	ソフトウェア開発及びITサービスの提供 セキュリティ製品の開発、販売、サービスの提供
本社	東京都品川区東五反田2-7-8 フォーカス五反田ビル
事業拠点	東京、大阪、名古屋
資本金	29億円
上場市場	東証第一部（証券コード：4662）
従業員	1,237名（2021年3月31日現在）

- 1977 ソフトウェア開発を目的として、株式会社フォーカスシステムズを設立
- 1978 沖電気工業(株)と取引を開始し、電子交換機のソフトウェア開発業務開始
- 1988 日本電信電話(株)（現 株NTTデータ）と取引を開始し、官公庁向けシステムの受託開発開始
- 1996 日本証券業協会に株式を店頭登録（現 東京証券取引所JASDAQスタンダード）
- 1997 日本IBM(株)と取引を開始し、システム保守・運用／インフラ技術支援業務の受託開始
- 1999 セキュリティ部門の受託開始（情報セキュリティ事業開始）
- 2004 情報セキュリティでの新分野デジタルフォレンジック製品販売開始
- 2015 東京証券取引所市場第二部へ市場変更
- 2016 東京証券取引所市場第一部銘柄へ指定替え

フォーカスシステムズの技術は、さまざまなシーンで社会を支えています。

サイバーセキュリティ
サイバー攻撃に対する防御や事後対応、
ハイテク犯罪調査ソリューション



Web アプリケーション
システム共通基盤 (intra-mart 等)、ERP パッケージ
を用いた、ソリューション提案から開発、保守運用

通信制御システム

携帯電話基地局、ルータやゲート
ウェイなど、通信制御装置の
ファームウェアの開発



金融機関向けシステム
メガバンク向け顧客管理
システムの開発や新銀行の基盤構築

社会保険システム
全国の年金事務所をつなぐ
年金制度を支えるシステムの開発

医療事務システム
診療を受けた時の診療報酬の
電算処理システムの開発

電子行政システム
行政サービスの電子化に伴う
システムの開発

暗号技術
電子情報を漏洩や改ざん
などのリスクから守る
ための次世代暗号技術



航空管制システム
管制官が使用する、いわば
「空の信号機」システムの開発



貿易流通システム
輸出入に関する手続きを
処理するシステムの開発

RPA
ロボットによる業務自動化により、
生産効率を上げるソリューション



自動車登録システム
車、バイク等の所有者や車検状況を
管理するシステムの開発

Beacon 開発
Bluetooth® Smart 規格に準拠した
薄型ウェアラブルデバイスの製造、
ソリューション提案からアプリケー
ション開発

福祉介護システム
要介護者が受けている介護内容を
管理するシステムの開発



 3つのFOCUS1st FOCUSシステム
インテグレーション

情報システムの導入に際し、お客様の業務目的に応じた情報システムの企画・開発から、運用までを総合的に行います。

2nd FOCUS

ITサービス

システムの可用性と信頼性を高めるため、インフラ設計・構築や技術サポート、運用サポートを行います。

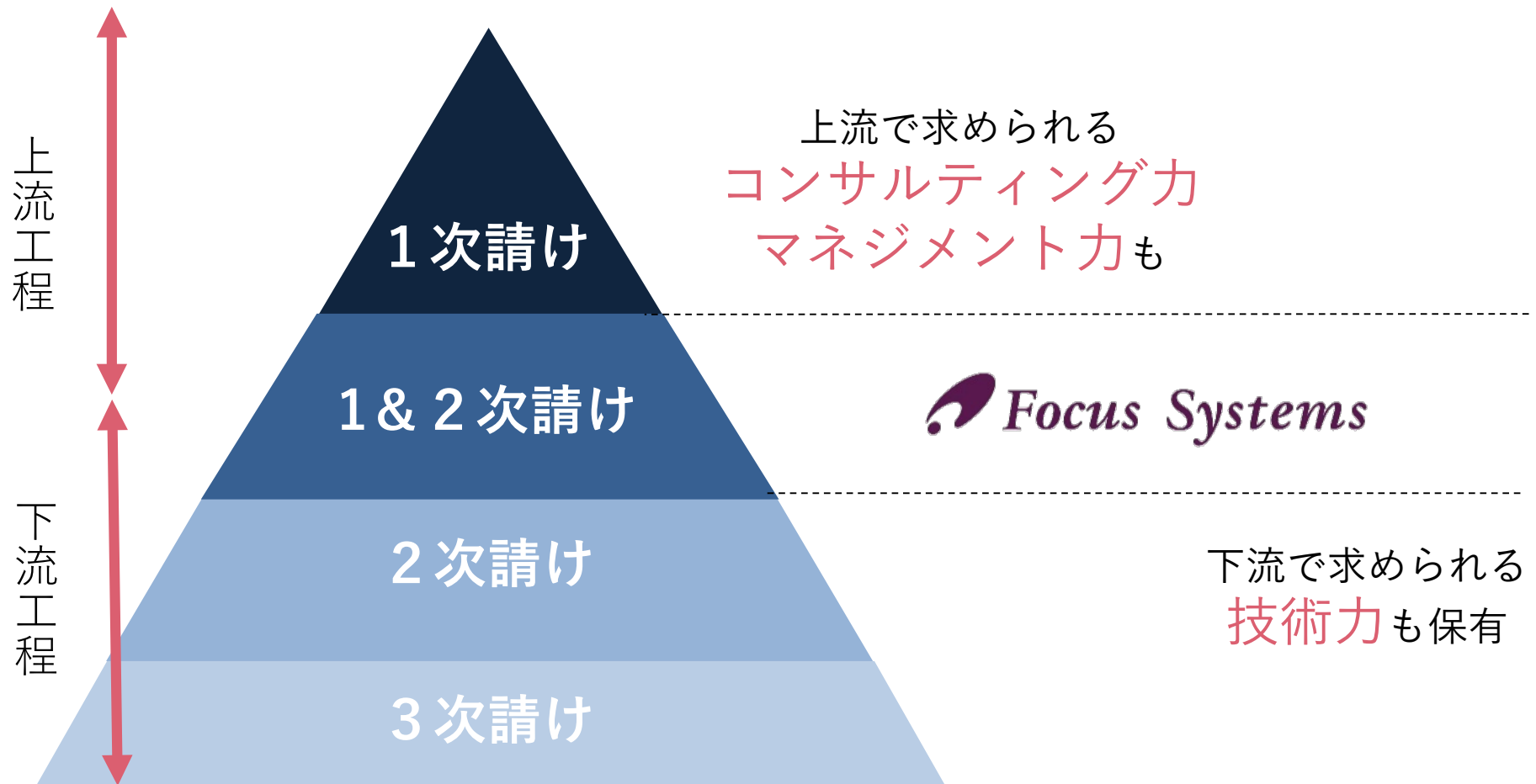
3rd FOCUS

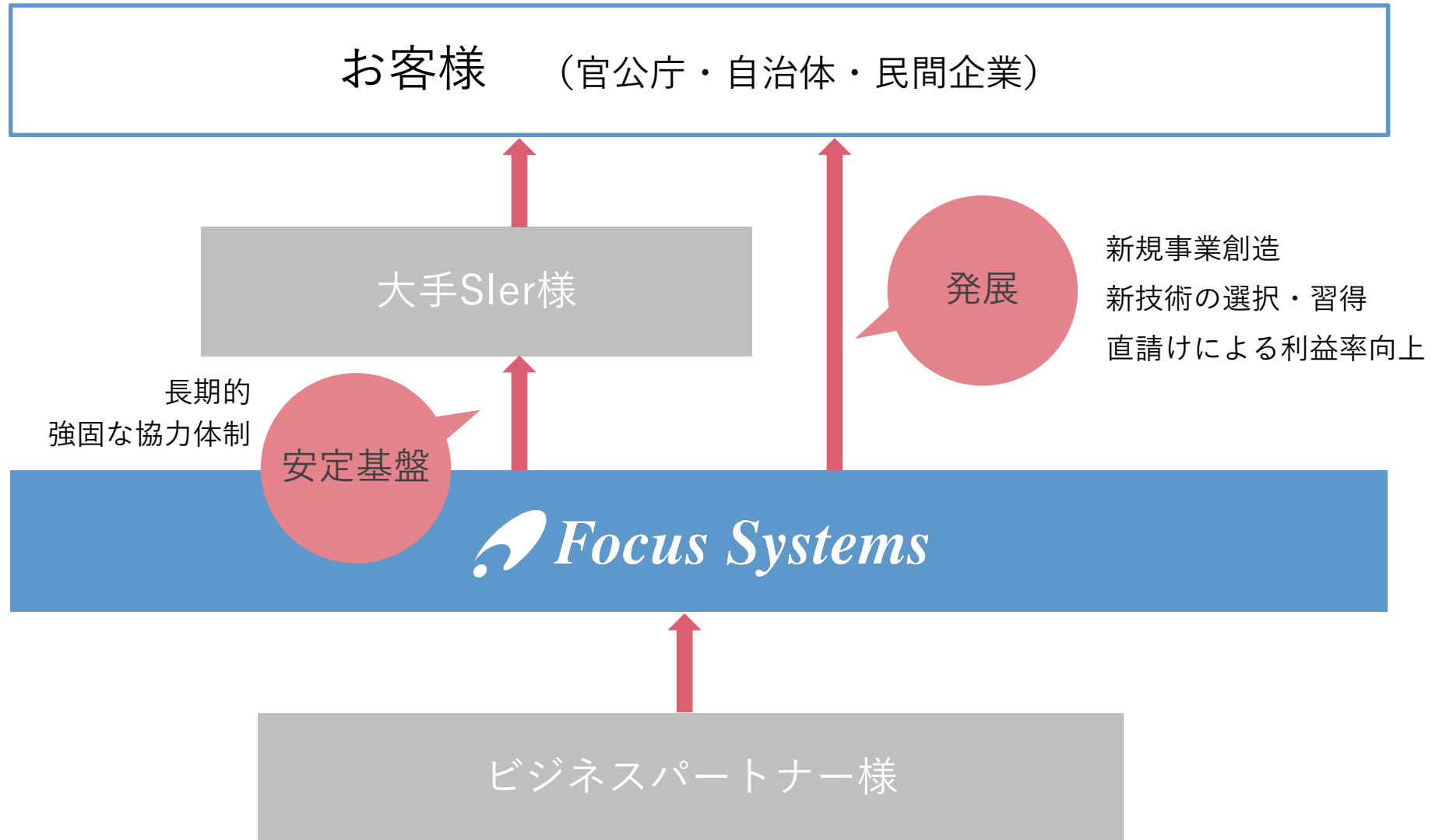
情報セキュリティ

暗号、電子透かしなどの情報セキュリティ技術で「情報リスク」をコントロールします。

フォーカスシステムズは独立系のシステムインテグレーター（SI）

工程は、上流から下流まで、プロジェクトは小規模から大規模まで
(稼働後運用・保守含む)





公共関連

- ▶ サービス停止の許されない公共事業への従事
- ▶ システムのライフサイクルに商機（法改正対応／システム更改）
- ▶ 長年培った深い専門知識と豊富な実績

エンタープライズ

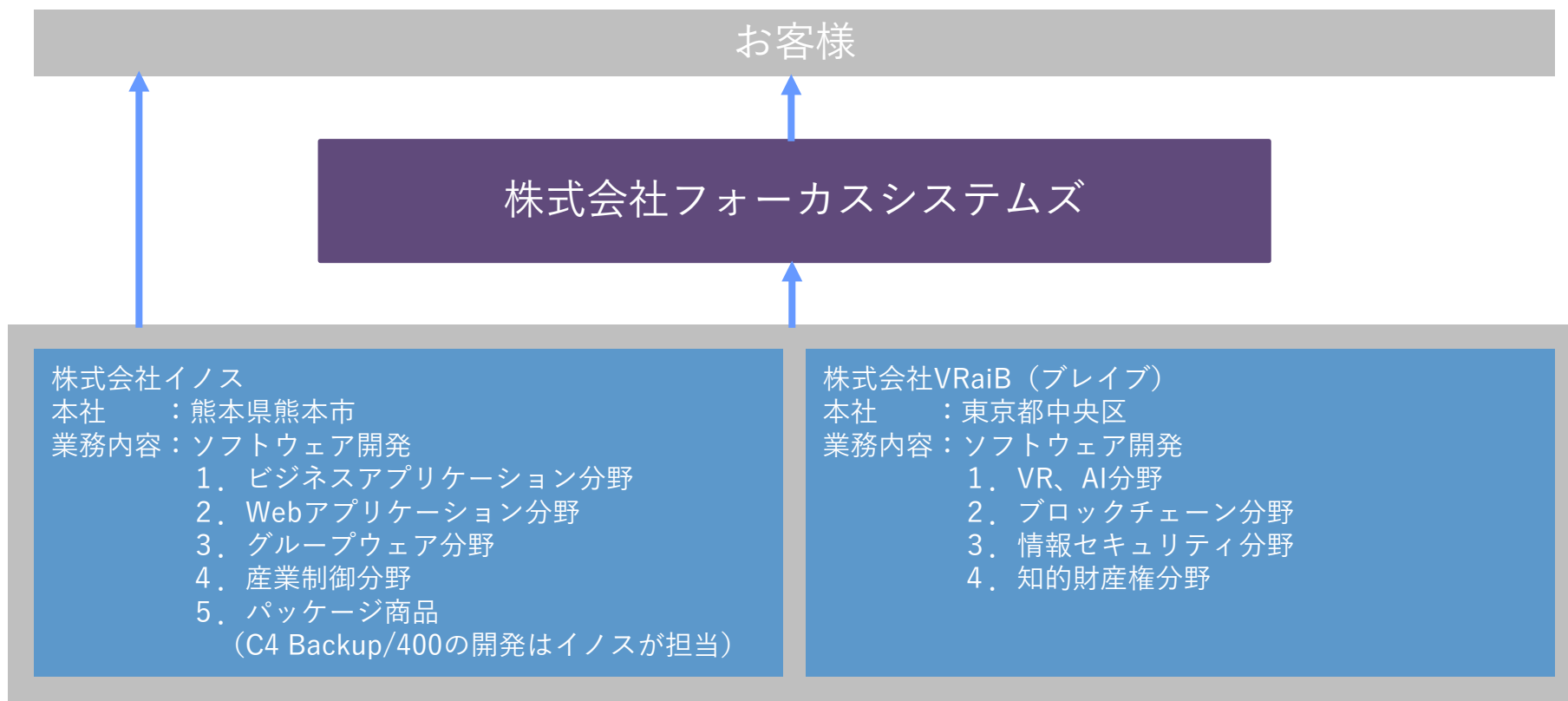
- ▶ 産業の枠を超えた柔軟な発想・提案力
- ▶ 新価値創造を担う新技術領域への参入
- ▶ インフラ業務で実現する収益の安定基盤

広域ソリューション

- ▶ 東名阪で幅広い事業分野に対応
- ▶ あらゆる事業分野に対応する技術領域の広さ
- ▶ 創業期の事業を受継ぐ安定した事業基盤

イノベーション

- ▶ 社会のイノベーションを縁の下で支える
- ▶ 安定基盤を構築してきた開拓力に強み
- ▶ 自社製品の開発で未来を拓く（例：IoT製品、暗号、電子透かし等）



関連会社の状況 (2021年3月)

社名	持分 (%)	売上高 (千円)	経常利益 (千円)	純利益 (千円)
株式会社イノス	20.0	1,295,242	98,782	75,439
株式会社VRaiB	20.0	3,721	▲1,834	95

✂️ ワークライフバランス

1 短日・短時間勤務制度

…仕事と育児・介護の両立を支援する制度
 短日（週3日）、短時間（1日5または6時間）が選択可能
 ※育児は小学校3年生まで、介護は介護事由がなくなるまで可
 ※同制度上で、フレックス制度も適用可

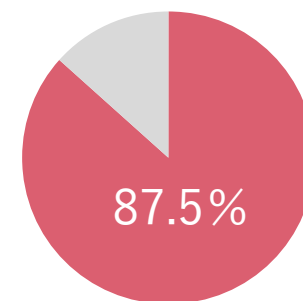
くるみん（次世代育成支援）
認定



育児休業明け
短日・短時間勤務制度
利用率



育児休業取得した社員の
復職率



※2021年3月末日時点

2 ジョブリターン制度（再雇用制度）

…ライフイベント（結婚・出産・育児）や
 キャリアアップ（留学・転職）を目的として退職した場合、
 10年以内であれば再雇用OK

3 フレックス制度

…自分のライフスタイルに合わせた働き方を支援する制度

ダイバーシティ

1 職域創成

・・・障害者雇用の新たな職域創成を目指し、水耕栽培による野菜の生産業務を2015年に開始。現在は、事務系職域の開拓も推進。「障がい者雇用率制度への対応実績推移」は次頁参照
活動の様子は、当社ブログ「[障がい者広報\(フォーカスNAVI内\)](#)」で随時配信



フォーカスNAVI
障がい者広報



https://magazine.focus-s.com/category/news/pwd_pr/

2 女性活躍

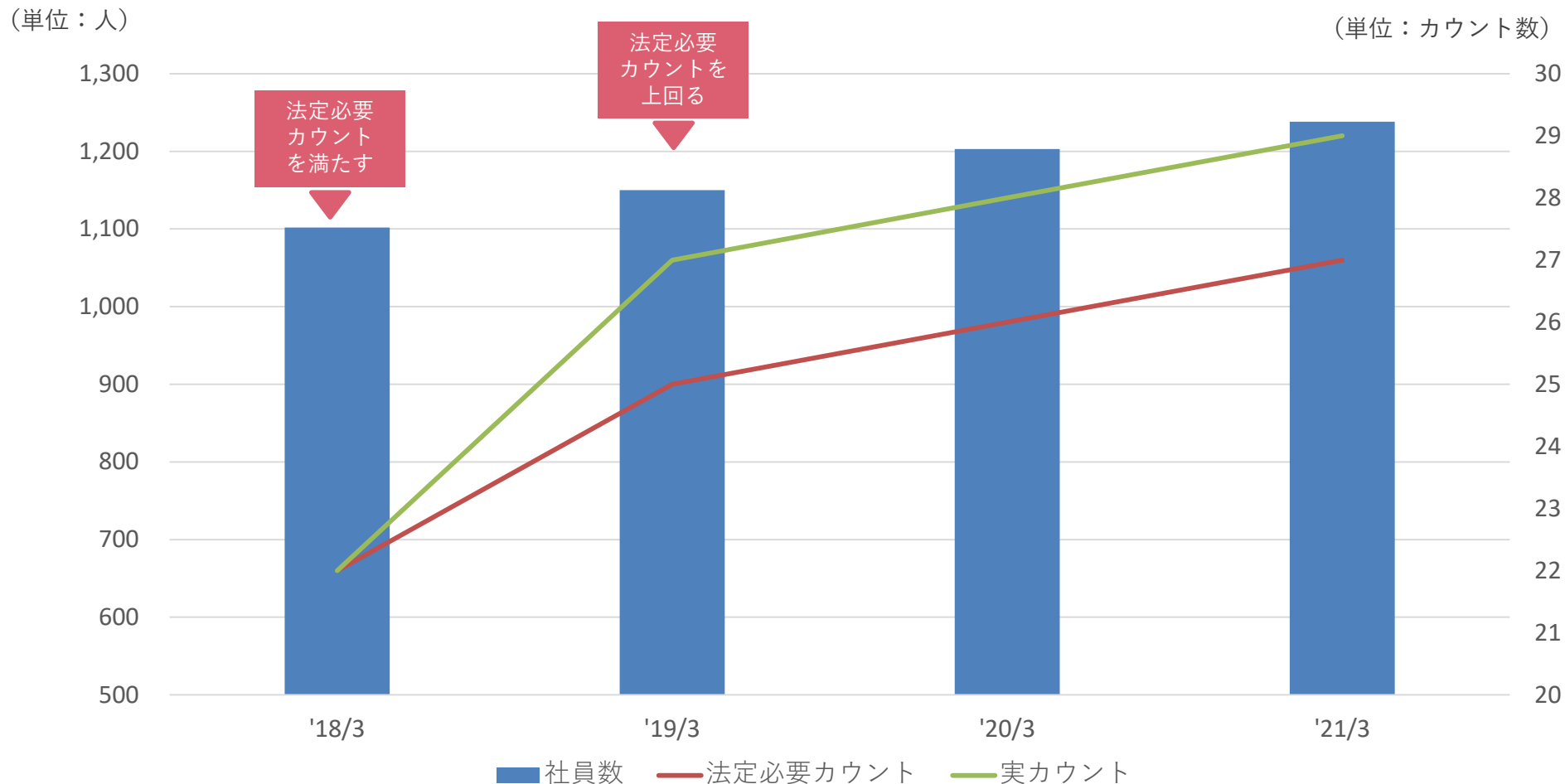
・・・女性社員へのキャリア支援セミナー、上司向けのダイバーシティマネジメントセミナー等女性の管理職増加に向けた双方向からの働きかけを実施



えるぼし（女性活躍推進）

女性活躍推進法に基づく優良企業として「えるぼし認定」取得

- ✓ 農業及び事務の職域開拓を図り、多くの障害者が長く働ける環境を整備
- ✓ 障がい者と働くことへの理解を促進する社内研修を実施し、受入れ体制を強化





経済産業省および日本健康会議が共同で優良な健康経営を実践している法人を認定する「健康経営優良法人2020(大規模法人部門)」に選定されました。

1 部活動支援

- ・・・社員の健康を促進するため、部活動への活動支援を実施
現在、9つの部活に約150名が所属



2 健康管理セミナー

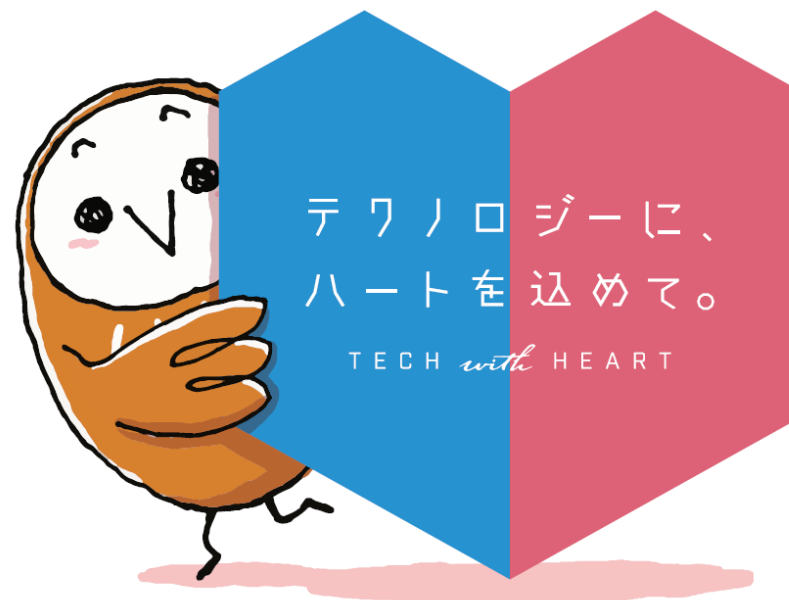
- ・・・2021/3期は、ヨガ&癒し（リフレッシュ）セミナーを実施
2022/3期は、食生活改善・肩こり腰痛予防セミナーを計画



従業員が心身ともに健康な生活を送るための取組みを実施しています。



今後とも、ご指導ご支援のほど
よろしくお願い申し上げます。



本資料は、2021年3月末日現在において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る2021年3月末日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。従って、当社グループとして、その確実性を保証するものではありません。